



No. 299
郵便番号 937
発行 富山県 魚津市役所
編集発行人 沢本章
毎月1回1日発行
印刷 三和印刷株式会社

人口のうごき (12月末日)		
世帯数	11,687	世帯
人口	22,654	人口
出生	29	31
死亡	11	10
転入	46	59
転出	89	119

市の農 十年間に一七セント減る

農家のうつりかわり

農林省は、昨年2月1日現在で実施した世界農林業センサスの結果のうち、一部の事項についてその概況をとりまとめ発表しました。この調査は、農家のみなさんとの協力と、指導員、調査員などの方々の大きな努力がその結果に寄与してあります。調査結果にあらわれた特徴を焦点をあわせ、本市における農家のうつりかわりをみてみましょう。

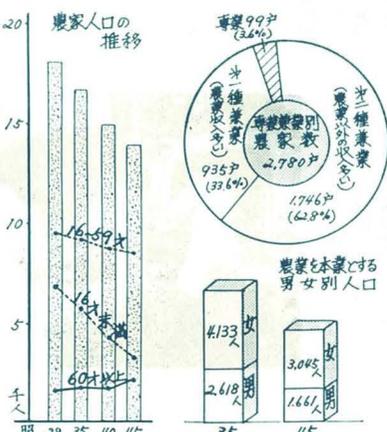
世界農林業センサスの結果にみる

全国の農家戸数は、五百三十四万戸で、この十年間に七十二万戸、つまり一割余りが減り、人口は二千六百二十八万人で、八百三十三万人、およそ四分の一が減っています。日本の農家や人口は、減る傾向にあり、そのなかでも、戸数より人口の減り方が大きいことが目だっています。

戸数は

四・六割減少

当市では、この十年間に百三十五戸減って二千七百八十戸となり、減少率が全国の半程度程度、四・六割になっています。また、人口は一万三千九百三十四人で二千七百八十一人(七七%)が減少し(本県の減少率とほぼ同じ)、戸数、人口とも減っています。その割合は、全国平均よりやや低くなっています。



せんが、自家農業に主として従事している人は、男女とも一千人ずつ(二割)減少しています。昭和25年当時は、農業だけで生活している農家が五〇割でしたが、今回の調査では大きく減って一六割になっています。とくに最近では、専業農家が減ったというよりは、兼業農家が減少しているのが特徴です。農家の収入を主として農業がふえて、全体の半数を超え、兼業化がすすむ傾向を示しています。

のなかで農業を本業としている人は七百万人です。これを十年前とくらべてみますと、およそ四割も減っており、しかも、そのなかで女性の減り方より男性の減り方が大きく、また若い人が減っているのが特徴で、農業の労働力は高齢化、女性化しているわけです。

当市では、なんらかの形で農業に従事している人は変わりますが、以上のように日本の農業は、農家の状態や人口の推移からみても、農業をとりまく事情が相当に変化していることがわかります。当市の農業も、十年前に比べて大きく変化しており、農業機械の普及、酪農、畜産、そ菜園栽培農家の増加、流通機構の改善など、その内容及ぶと隔世の感があります。

便利な

市税の口座振替制度

私たちの経済生活では、各納期ごとに税を完納することは容易ではありません。そのため納税の準備を怠り、日ごろから計画的に納税資金を準備し、各納期に納税できるようにされています。しかし、一部の組合では、これを十分活用されないうえ、組合長さんなどが納期になると、血まなこになって集金に走りまわっている例もありま

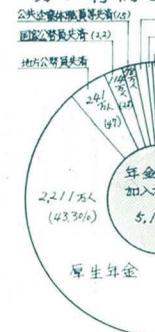
す。市では、昨年度から口座振替による納税をすすめており、この制度はどんなものかお知らせします。

口座振替を利用されると、納期の最終日に、組合員の預金口座から自動的に振り替えて納税されます。このため、役員の方や、納税者のみなさんが直接納税に向かなくてもよく、また

年金で守ろう あなたの老後

国民年金は、年金制度のなかでもっとも新しい制度で、加入している人の数からみて、厚生年金とも、日本年金制度の大きな柱でありました。走者にとえれば、最後に走るアンカーの役であり、わが国の年金制度をなしたとげた意義のある年金制度です。

そのたいせつな国民年金制度で老後や不慮の事故にそなえることができます。年金は私のものであるもの



国民年金は、厚生年金など国民年金以外の年金に加入していない人を対象としています。このことから待望の老齢年金(拠出制)の支給がはじまることもあって、一人残らず年金に結びつけようとする制度の改善が行なわれており、より高額の年金をめざして所得比例制度もスタートしました。改善されたこれらの制度を十分に活用し、老後を守り、不慮の事故にそなえてください。

二十歳になったが年金に入っていない人、会社をやめたが、年金は放ったままの人、また、老後の生活を夫に依存しきった主婦など、まだ相当数あります。これらの人については、高齢者が増加し、核家族化が進行し、子どもの扶養にたよれない社会変動のウズにのまれ、自身もいることをよく認識し、

若いうちから年金で、老後にそなえることは、自分自身のためであり、また家族みんなのためであることによく自覚して、一日も早く年金に加入することがぞまれます。

国民年金と所得税...国民年金保険料を納めた場合、その家族の分も含めた保険料は、所得から控除されますから忘れず記入してください。

市役所前公園

二か年計画で整備



駅前地区土地整理事業によって、市役所前に第七号公園がつくられました。その造成工事が、国の補助事業によりすすめられることになりました。この公園は、広さや六千平方メートル、すでに周囲には外さくや出入口六か所、水銀灯三基が設けられています。

市役所公園は、二か年計画で整備するもので、六か所の出入口を幅三メートルの遊歩道で結び、中央には芝を植え、周囲には花だんをつくり、植樹をすることになっています。

45年度事業は、昨年12月初めから着手されていますが、四百五十万円の費用で、鉄筋コンクリートづくりのパーゴラ(休憩所)一基と、コンクリートプロ

団休優勝は上中島

婦人会の卓球大会



第1回市連婦卓球大会は、1月24日午前10時から村木小学校講堂で行なわれ、村木小学校が優勝しました。この大会は、市教育委員会などが主催で、団体戦と個人戦とをくりひろげました。この結果、団体優勝は上中島婦人会、個人優勝は野和子さん(経田)に輝きました。団体次勝は日か記念社宅婦人会、個人次勝は森内節子さん(加積)でした。この大会は、市教育委員会などが主催で、団体戦と個人戦とをくりひろげました。この結果、団体優勝は上中島婦人会、個人優勝は野和子さん(経田)に輝きました。団体次勝は日か記念社宅婦人会、個人次勝は森内節子さん(加積)でした。

ごみの収集

ふたのない容器は困ります

最近、ごみ容器のポリバケツなどに入れてないゴミや、ふたのないゴミ、ダンボール箱に山盛りにしたまま出しているごみがよくみられます。冬期間は、雪や雨のため、燃えにくい上に、こぼれ落ちたり、街路をきたなくするばかりでなく、収集作業や焼却作業を困難にします。

ポリバケツなどのごみ容器は、必ずふたをして出すこと。ダンボール箱は、十字にひもで結び、ごみがこぼれ落ちたり、底が抜けないように出すこと。雪が降ったときは、ごみ箱がうずもれないように、収集当日の予定時刻前に出すこと。前日に山盛りになったごみは、ポリバケツがない場合は、ナイロン、ビニール袋に入れ、ひもで結んで出すこと。持ち上げると、重くて破けることのないように。台所のちゅう芥は、よく水を切って出すこと。

予防注射と検診

該当者は、保育園、幼稚園に入学して

幼児検診 園に入学していない幼児で、①二歳児(昭和43年3月1日)同42年2月28日までの出生者、②四・五歳児(昭和40年3月1日)同42年2月28日までの出生者)です。

衛生教育講座 2月7日片貝小学校で、「正しい医療の受け方」上中島2月16日吉野青年クラブで、「正しい医療の受け方」加積2月16日加積公民館で、「精神衛生」道下2月21日道下公民館で、「正しい医療の受け方」(時間は午後1時30分から4時までの予定)

胃ガン検診 胃ガンの早期発見を目的に行ないます。検診希望者は、3月5日(金)まで市保険衛生課へお申し込みください。定員になり次第締め切ります。検査日2月15日(月)場所2片貝小学校人員270名料金450円

9日に婦人学級 婦人学級大会と意見発表 会と婦人学級大会は、2月9日(火)午前10時から市民会館で婦人学級生など約八百名が集まって行なわれます。午前中は婦人学級大会、午後意見発表大会で、ことしのテーマ「くらしと消費」について活発な意見が各校下代表から発表されます。

歩こう会 2月の歩こう会は、7日(日)午前9時から行ないます。コースは、村木小学校前から東道を通り、経田1落合橋を経て石田駅まで、約八キロを歩きます。帰りは石田駅から電車を利用します。参加希望者は、午前9時までに村木小学校前へお集まりください。雨のときは中止になりま

市役所の市民相談室は市政の窓口として、市民のみならずからの陳情や意見、要望、苦情などを受け付けております。

市民相談室が、45年中に受け付けた陳情や苦情は二百五十五件に上っています。つきにそのあらましをお知らせします。

45年中の市民相談室利用状況

そのおもなものは、道路舗装や改良の要望、工場のばい煙、騒音、悪臭などに悩まされている人からの相談、家庭の不和や相続問題、交通事故の補償問題、駐車問題、市営墓地についての問い合わせなど、広い範囲にわたって相談がもたらされました。昨年中に取り扱ったものを区分してみますと、次のようになります。

要望多い道路舗装や改良

公害の相談もふえる

・水路、河川の改修	一〇件	・車の駐車、速度制限	五件
・住宅問題について	九件	・社会福祉問題	五件
・用地の幹線、掘下げ	八件	・都市計画問題	四件
・ゴミ、し尿処理問題	六件	・上、下水道問題	四件
・税金について	六件	・市営墓地について	四件
・助成金、市の財政問題	五件	・年金、国保について	四件
・保育所について	五件	・登記について	四件
・相続問題	五件	・子どもの広場について	三件
		・ほ場整備事業について	三件
		・戸籍について	二件
		・自動車運送業の免許払下げについて	二件
		・借地権問題	二件
		・交通信号機の設置	一件
		・防犯灯の設置	一件
		・灯油ドラム缶販売について	一件
		・その他	三三件

前年より七五回もふえる

救急車の出動

非常サイレンを鳴らして走る救急車は、最近よく見られるようになりました。消防本部では、45年中の救急車の出動状況をこのほどまとめました。これにより、前年より七五回もふえています。前年より七十六回も多くなっています。そして車で運んだ人は三百十三名で前年より六十一名も増加しました。



救急車の出動

事故別出動回数をみますと、交通事故がもっとも多く五百五十六回、急病人七十四回、一般負傷四十九回、労災事故十六回の順になります。また出動回数を月別にみますと、10月が四十四回、いちばん多く、8月三十七回、7月三十六回、12月三十四回、11月三十三回、益から暮れにかけて事故の発生が多くなっています。

また、これを時間別にみますと、午後6時から午後7時が二十三回でいちばん出動が多く、午後7時から8時二十二回、午後8時から9時二十回となり、午後6時以後の夜の事故が多くなっています。

灰になる

灰になる

45年中の火災状況

昭和45年中におこった火災状況

一千六百万円が

火災の出火原因をみますと、①モーターの過熱②たき火の不始末③三件 ④タバコの不始末⑤二件 ⑥アイロンの不始末⑦二件 ⑧ガスコロの消し忘れ⑨二件、の順となり、そのほかプロパンのガスもれ、子どもの火遊び、カマドの過熱、風呂のからび、放火、石油ストーブ、豆炭、取り灰などの不始末となつています。これらの火災はちよつとした不注意で思わぬ災害になっておられます。お互いに火の元には十分注意しましょう。



椅子

八百七十六人

一年間の人口動態

45年中の人口動態は、出生が男四百七十九人、女三百九十七人、合計八百七十六人で、前年より四人ふえています。いっぽう死亡は、男百八十九人、女百四十七人、計三百三十六人で、前年より十人少なくなっています。

また転入者は一千三百八十三人、転出者は二千二十四人と、六百四十一人転出者が多くなっています。

婚姻は四百四十五件、離婚三十九件が届けられています。12月末における人口は、四万七千二百六十一人(男二万二千六百五十四人、女二万四千六百七人)、世帯数は一万一千六百八十七世帯となっています。

上手な医者のかかりかた

日ごろから家族の健康について、相談できるホームドクターを決めておいて、病気の早期発見につとめることがたいせつなことです。上手な医者のかかりかたとして次のようなことを知っておきましょう。

- ▽病気の状態について要領よく説明できるようにメモしておく。
- ▽医師の指示をまもり治療方法に

電話の市内局番 今秋から2ケタに

魚津市内の電話はやく六千三百個となりましたが、こんごもふえることが予想されます。そこで、現在、一ケタの市内局番では、収容できなくなり、秋ごろに二ケタに変更する予定になっています。

七百五十人が参加して成人式

ことしの成人式は、1月15日午前10時から市民会館で成人者や七十五人が出席して行われ、大谷教育委員長や高野市長などから「社会のために役立つ人にならなさい」と激励し、お祝いの言葉を述べ、成人者代表として下新町江口環さんが謝辞を述べた。このあとアトラクションとして青年団のコーラスや民謡を演奏した。



成人式の様子

犯罪捜査にみなさんのご理解とご協力を

最近の都市化現象とともに、近所のつきあいがうすれてゆく反面、自動車の増加、マスコミの発達などによって、犯罪はますます悪質・巧妙・スピード・広域化してあります。それだけにいっそう市民のみなさんの捜査に対する理解と協力がのぞまれています。

市内でも、けんか、盗難事件などがあいついで発生してありますが、幸いつきつきに解決しついで注意をつけたい。

▽医師をつきつきへと変えて治療を受けることをやめる。

▽やむを得ず医師を変えようとするとき、いままでもかかっていた医師に、専門医や病院を指示していただき、紹介状をもらって行きましょ。いままでの経過がわからないと、あらためて検査や診断のやりなおしをしなればなりません。

▽急患でない限り、きめられた診療時間内(午前9時午後5時)に診療を受けましょ。時間外の場合は料金が高くなります。

45年分 所得税の確定申告

2月16日から始まる

昭和45年分の所得税の確定申告は、2月16日から3月15日までです。

確定申告しなければならぬ人

① 一般の人の場合

② 各種の所得金額の合計額から基礎控除額(十七万七千五百円)と、そのほかの所得控除額を差し引いた金額について算出した税額が、配当控除額よりも多い人。

③ 給与所得がある人の場合

④ いざ知らぬかある人。

⑤ 給与の収入金額の合計額が五百万円をこえる人。

⑥ 給与を二か所以上から受けている人で、年末調整された給与所得と退職所得以外の各種所得金額との合計額が五百万円をこえる人。

⑦ 同族会社の役員やその親族などで、その法人から給与のほか「利子、貸付料」などの支払いを受けている人。

⑧ 災害を受けたため、45年中に給与についての源泉徴収額や還付を受けた人。

⑨ 納め過ぎの税金の還付

確定申告をしないでよい人も、源泉徴収された税金や予定納税をした税金が、納め過ぎになっている人は、還付を受けるための申告書を提出することが出来ます。この申告書は、2月15日以前でも、税務署で受け付けますから、なるべく早めに申告して税金の還付を受けてください。

贈与税は、土地や家屋をはじめ、現金、預金、株式など財産をもらった人に対してかかる税金です。贈与税の申告と納税は2月1日から3月15日までです。申告しなければならぬ人は

- ▲日曜祝日の当番医
- ▼7日(本江江口外科医院)
- (夜)友道酒屋医院
- ▼11日(新金屋一丁目羽田医院)
- (夜)新金屋一丁目羽田医院
- ▼14日(緑町早川病院)
- (夜)中央通り二丁目新崎医院
- ▼21日(尾角川町宮本医院)
- (夜)本江宮元医院
- ▼28日(新金屋一丁目森本医院)
- (夜)本江浦田病院

本田さん

人権擁護委員に

人権擁護委員にこのほど経田中町の本田正一さん(五十四歳)が法務大臣から委嘱されました。

「人権が侵された」とき、「侵害されるおそれがあるとき」は、すぐに人権擁護委員や法務局へお申し出ください。人権擁護委員は、みなさんの相談相手となつて解決にあたつていただきます。市内には五人の委員がおられます。

今月の納税

固定資産税 四期分

国民健康保険税 四期分

納期限は3月1日です

昭和45年中に財産をもらった人で、その価額が基礎控除額(四十万円)を超える人です。もらった財産価額は、そのときの時価によることになっています。この時価は、財産の種類ごとにその評価の方法が定められています。

申告の期限におくれば、不利な取り扱いを受けますから早めに手続きをしてください。

税務署では、贈与税について相談日を設けましたのでお気軽にご利用ください。

相談日 2月15・16日午前10時から午後4時まで

場所 魚津税務署

3月20日までに

農業を営まれている人が、農耕に耕うん機、トラクターなどを使用されるとき、その動力に用いる燃料が軽油であれば、その軽油にかかる軽油引取税が免税になります。

魚津県税務所では、農耕の始まる前に、免税証を交付したので、申請希望者は、近くの農協でお問い合わせのうえ、必要な書類を作成し、3月10日から20日までの間に提出してください。

郵便局の簡易保険

郵便局の簡易保険の契約高が十兆円をこえました。この資金は、地方公共団体に融資され、学校、道路、住宅などの建設に役立てられ、市の発展にも大きく貢献しております。

郵便局では、3月20日に完成予定の郵便局舎の新築を記念して、簡易保険加入運動を行なっています。可愛いお子さまのために、すばらしい住宅の建設資金に、夢はぐくむ海外旅行資金に、一家の働き手の保障に、また、老後の生活安定のために、ぜひこの機会に簡易保険のご加入をおすすめします。

局舎新築落成記念にすばらしいデザインのスタンプを保険証書に押しつけてあげています。

(魚津郵便局)

定額貯金の引き上げ

郵便局の定額貯金の利率は、2月1日から預入期間一年六か月以上二年未満のもの〇・二五割引き上げられ五・五割になりました。また、二年六か月以上もの六割が新設されました。

これにともない半年複利計算とあいまって、実質利回り(年)三年の場合六・四七割、五年の場合六・八八割、十年の場合八・〇六割とますます有利になりました。

1月末までに預け入れられた定額貯金についても、2月1日以降、新利率が適用されます。

たばこは市内で... 旅行や出張の際のたばこは、ぜひ市内で買いましょ。売上げの一部が市の収入となります。

寄付

- ▼二万円 本江江沢藤一郎
- ▼一万円 大光寺吉岡悦郎
- ▼一万円 田方町守谷良雄
- ▼五千円 石垣新石川浅吉 (以上香典返しの一部)
- ▼四万五千円 青年美術家グループ
- ▼二万二千九百三十三円 勤労青年ホーム友の会会長大野吉一
- ▼一万円 文化町小室とよ
- ▼三万五千円 魚津警察署長
- ▼中古テレビ四台 魚津電気商組合 魚津支部、いずれも社会福祉支援金へ寄付されました。

- ▲歳末たすけ合い募金
- ▼二千七百円 持光寺窪田定子
- ▼六千円 富山県寺族婦人会長坂本芳栄
- ▼二千七百円 下坂下青年団
- ▼七千八百五十円 町稲垣キョウ
- ▼七千八百五十円 魚津西ロータリークラブ
- ▼四百五十六円 住吉稲垣文吉
- ▼三千五百五十一円 市役所職員組合
- ▼一万一千五百円 魚津商組合代表岸本政雄
- ▼一万六千五百一十円 および乾機
- 魚津地区同盟議長武田俊明
- ▼三千元 文化町後藤俊一
- 二万円 北陸銀行魚津支店北親会代表杉本菊一
- ▼三千二百七十三円 富山第一国ガールスカウト代表松田真理子
- ▼四百七円 〇〇〇名

契約高十兆円をこえる

郵便局の簡易保険

郵便局の簡易保険の契約高が十兆円をこえました。この資金は、地方公共団体に融資され、学校、道路、住宅などの建設に役立てられ、市の発展にも大きく貢献しております。

郵便局では、3月20日に完成予定の郵便局舎の新築を記念して、簡易保険加入運動を行なっています。可愛いお子さまのために、すばらしい住宅の建設資金に、夢はぐくむ海外旅行資金に、一家の働き手の保障に、また、老後の生活安定のために、ぜひこの機会に簡易保険のご加入をおすすめします。

局舎新築落成記念にすばらしいデザインのスタンプを保険証書に押しつけてあげています。

(魚津郵便局)